

# 竜王中学校 学校関係者評価書

令和4年2月14日(月)

竜王中学校学校関係者評価委員会作成

## 第一回 学校関係者評価委員会

実施日：紙上提案

参加者：(学校関係者評価委員) 島田明人 川口優一 中嶋正人 鷹野秀樹  
古屋あゆみ 松田由美子 桂原 幸 熊倉めぐみ  
(学校側) 野本眞二 河西 修 窪田昌彦 岡村勝幸  
浅川藤悟 渡辺浩二 阿部勢津子

### I 学校側から提案された内容

令和3年度自己評価, 令和3年度生徒用アンケート集計結果表, 令和3年度保護者アンケート集計結果表  
(いずれもR2・R3を比較できるもの)

### II 協議された主な内容

自己評価シート及び生徒アンケートの集計結果, 保護者アンケート集計結果をもとに学校の現状(成果と課題)や取り組み等について情報を共有・協議し, 学校・家庭・地域の連携協力により学校運営の改善にあたる。

## 〈学校関係者評価書〉

### I 全体評価

感染症対策をはじめから2年以上経過し, なおかつ本年度は二度にわたる分散登校が行われた。学校は感染症対策の徹底を行うため, 合唱や調理実習は未だに行えない状態である。その状況下, 39の評価項目の内, 39項目すべてにおいて, 肯定的評価(A+B)が80%を超えている。肯定的評価が大部分を占めていることが大きな成果だと考える。コロナにより学校運営が大きく変化し, 不安をもちながらも教師と保護者が「子どもたちのため」に今できる最善の策を実施している。しかし, 各種行事や大会等の内容が変更され縮小を余儀なくされたこともありそのことが評価結果に反映されている。

ICTの運用は本格的に実施され, 教師と生徒のスキル向上は目を見張るものがあった。今後, ICTを活用した学校運営は大いに期待されており, 今後も全職員をあげて学校教育目標の具現化に向けて教育活動にあたっていきたい。

### II 特徴

- ① 学校教育目標については全5項目, 全てが肯定的評価80%以上となった。A評価の割合が高かったものは「学校教育目標」であった。「P→D→C→Aサイクルでの教育活動」は昨年度よりA34.3%→46.7%と向上した。
- ② 学校運営については8項目中6項目で肯定的評価が80%以上となった。A評価の割合が高かったものは「諸表簿や文書, 記憶媒体の管理・活用」「連携した協働体制」「報告, 連絡, 相談, 確認」であった。A評価が低かったものは, 「校務支援システムの活用」「働き方改革」であった。
- ③ 学習指導については肯定的評価が80%以上となったのは7項目中5項目。「学びの意欲を喚起する授業」が96.3%, 「宿題や家庭学習」が96%, 「基礎・基本の定着をはかる授業」が100%であった。否定的評価は「道徳の時間」で6.4%から22.2%になった。
- ④ 生徒指導については全6項目全てが肯定的評価80%以上となり3項目が100%であった。A評価の割合が高かったものは「コミュニケーション」「規範意識」「愛情と信頼に基づく生徒指導」であった。「集団づくり」「キャリア教育」「問題行動の早期発見, 早期対応」に関しては100%となった。
- ⑤ 地域との連携については全6項目の肯定的評価が80%以上となり, 90%以上は5項目となった。特にA評価が高かったのは「たよりやホームページ」だった。一方でA評価が低かったのは, 「地域人材の活用」であった。
- ⑥ 学校の特色については4項目(挨拶 読書 学校行事 信頼関係)中すべてが肯定的評価80%以上となった。特に「学校行事や校外学習」はA評価が70%であった。

○生徒アンケートの結果は昨年度同様、概ね肯定的な回答であった。以下参照。

「先生はよく勉強を教えてくださいませんか」 97.2%→97.8%

「国語の授業理解」 91.1%→93 % 「数学の授業理解」 86.1%→88 %

「外国語の授業理解」 79.8%→73.7% 「学校は楽しいですか」 91.2%→88%

「相談できる友達」 89.2%→87% 「先生はよく勉強を教えてくださいませんか」 97.2%→98%

「相談できる先生」 77.5%→71% 「清掃」 97.4%→98% 「夢や希望」 76.6%→74%

○保護者アンケートの結果

・保護者アンケートの結果は学校の教育活動に対し肯定的であるものの、昨年度より肯定的評価が下がったものが多かった。（「相談できる友達」「授業の理解」「PTA活動」「挨拶」「地域の行事」「学力向上」）

・授業参観や学校開放日が中止となり、保護者が生徒の活動をみる機会が少なくなったが、学校・学年通信やICTの活用により学校の教育活動を知ることができたと評価されている。

・家庭で自主学習をしていると答えた保護者は2年連続で増加している。

### III 今後の課題として意識されたいこと

・職員の福利厚生は多少の向上がみられるようであるが、まだまだ低水準である。PTA活動の見直しは賛成であるが、地域・保護者が連携して支えていく活動は増やしてもらいたい。

・朝の挨拶運動を通してみる限りでは100%近い数値と認識しているものの、アンケート結果が低いので疑問視している。先生方の仕事が多いのも理解しているが先生が疲れると生徒も疲れる。創意工夫して退勤時間を早めてください。

・職員の多忙化がこれ以上進まないよう、各種事業の見直しを確実に実行していくべきと考えます。教職員の心の健康は、生徒の心の健全育成にもかかわることと思います。チーム学校の心臓部で動いていただいている方々が今以上に働きやすい場であってほしい。

・先生方の熱心な指導の結果が伝わります。道徳に関しては先生方の肯定的評価が下がっていることが気になります。生き抜く力を道徳の時間などを通して育成していただきたい。

・先生は勉強を教えてくださいでも相談しにくいとの結果がみとれます。生徒とのコミュニケーションをより活発にとり相談の場を増やしていただきたい。

・地域連携について保護者が参観できる機会がコロナで減っているが、HPや学校通信、YouTubeなど学校が工夫してくれてよかった。

・コロナ禍が続き授業や行事が思うようにすすめられない中、先生方と生徒の皆さんが努力している姿がうれしい限りです。心と身体が不安定になっている人がいると聞きますが、コロナ前の生活と同じように学校生活を送れるよう願っています。

・個人用の情報機器所有率が増えてきているが、多くの情報を正しく判断し活用していく教育も重要だと思う。

・コロナ禍で大きく状況が変化する中、更に良い学校をつくらうとしている職員の方々の姿が見られました。職員、生徒、地域のつながりは大きな変化が求められると思いますが、提示された改善策を着実に実行していただきよりよい学校運営を目指してもらいたい。

・一人ひとりが出番と居場所のある学年・学級づくりを今後も取り組んでもらいたい。

・あいさつ運動については地域での生徒のあいさつが少なくなっているように感じるためより活発に進めてほしいです。

・沢山の保護者の協力があつたフードバンクについても、継続して取り組んでほしい。

・学校で取り組まれている基本的な生活習慣の確立について、将来につながる大切な部分であり引き続き個別・集団ともに指導をお願いしたい。

・学園祭、合唱の取り組みができず生徒に影響がでている。こうした活動を通して、学ぶことの大切さを実感する。生徒主体の活動を工夫し支えていただきたい。

・コロナ禍でアンケート結果が上向きとはいかなくても、関係の皆さんの前向きな姿勢が表れています。今後もさらに前進の気概をお願いします。

記載責任者（竜王中学校学校関係者評価委員長） 氏名： 島田 明人 印